



「東京防災」学習セミナー

7月9日(土)夕、つくし野コミュニティセンターにおいて。出席者は1・2丁目自治会(14名)、2丁目自治会(8名)、4丁目自治会(7名)、計29名が参加。

主催:東京都総務局総合防災部、
講師:高貝正芳氏(危機管理協会事務理事、いのちを守る@プロジェクト JAPAN 代表理事)。

(part.1)「東京防災」から学ぶ首都直下型地震等への備え、今やろう4つの備え「物の備え」、「室内の備え」「室外の備え」「コミュニケーションという備え」に

ついて、自己の体験談や具体策を交えわかりやすく説明された。(part.2)「被災経験者または被災地支援経験者に学ぶ」6つの班に分かれディスカッション、「平日の昼間に震度6強の地震発生」を前提に、経過時間によって取るべき行動を考えた。活発な討議も行われ、たいへん有意義なセミナーでした。



テキストに使われた冊子「東京防災」



8・21 スタンドパイプ訓練

8月21日(日)9:30～宮前公園にて、スタンドパイプ(SP)の操作訓練が行われ、参加者は20数名、消防署からは4名の隊員が駆けつけご指導いただきました。取水制限のため放水はやめましたが、経験者も初心者も炎天下、ほんと真剣に取り組みました。

☆教訓1→「マンホールの蓋」が固まってなかなか開かない、「大きなハンマー」で叩いたらやっと開いた。

☆教訓2→「頭を使うより、体を動かす。」(実地訓練の大切さ)

(写真) ①つくし野小前のSP格納箱、②マンホール(消火栓)を開ける、③SPのホースを伸ばす、④SPを消火栓にセット、⑤放水開始!

